

第1回定例会
4月議会
5月議会

令和2年度補正予算の概要

4月と5月に新型コロナウイルス感染症対策のための補正予算を審議し、それぞれ原案どおり可決しました。

4月議会 一般会計補正予算(第1号) 補正額 6億900万円

主な取り組み

- 個人商店等緊急支援金事業費(2億300万円)
- 新型コロナウイルス感染症対策事業費(1億9,480万円)
- 児童扶養手当受給者に対する緊急支援給付金事業費(1億1,000万円)

5月議会 一般会計補正予算(第2号) 補正額 325億8,971万円

主な取り組み

- 特別定額給付金給付事業費(307億2,500万円)
- 高齢者・障害者サポート利用券発行事業費(8億1,100万円)
- 子育て世帯臨時特別給付金給付事業費(4億6,300万円)



議場では議員が間隔を空けて着席

※4月議会、5月議会に提案された議案に対する各議員の賛否は6月議会号に掲載を予定しています。

新型コロナウイルス感染症拡大

緊急対策を盛り込んだ補正予算を可決

迅速な対応で市民生活を守る

令和2年第1回定例会4月議会が4月17日から4月20日まで、5月議会が5月7日から5月8日まで開かれました。4月議会では令和2年度明石市一般会計補正予算(第1号)など議案3件を可決、5月議会では新型コロナウイルス感染症あかし支え合い基金条例制定や監査委員選任など議案5件を可決・同意、報告2件を了承しました。

5月8日の本会議では、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、市民生活維持のための令和2年度一般会計補正予算(第2号)を全会一致で可決しました。

補正予算には、国の国民一律10万円を給付する特別定額給付金および児童手当を児童1人あたり1万円増額する臨時特別給付金をはじめ、県との

協調事業として、休業要請に応じた事業者への経営継続支援金(中小法人100万円、個人事業主50万円など)が盛り込まれています。

特別定額給付金については、5月27日から申請書類を郵送、翌28日より受け付けを始め、6月中旬には給付を開始する予定です。なお、オンラインでの申請受け付けは、先行して5月8日から始まっています。

さらに市の独自施策として、国の特別定額給付金を受け取れない無戸籍者やDV被害者に対して1人あたり10万円を給付するほか、70歳以上の高齢者と69歳以下の障害者

ル感染症の影響を受け、休業等に伴い売り上げが大幅に減少する中、国や県の支援策がなく、金融機関の融資に日数を要するなど、家賃等の資金繰りに困難な事業者を早急に支援するため融資を行うものです。なお、本事業は、すでに1億円を超える貸し付けを行いましたが、国・県の給付金制度が開始されたことなど

に対する日常生活支援として、飲食物の宅配やタクシーの乗車代金に利用できる1人あたり1万円のサポート利用券を送付します。また、子育て世帯への追加給付金として児童手当を受給している1世帯あたり1万円の給付、臨時休校期間中の児童・生徒の家庭学習支援として学習教材等の郵便を利用した双方向のやり取りによる学力保障と相談支援のほか、入院病床の確保など医療体制を充実させるための予算なども計上しています。

5月議会では、これら補正予算以外に、感染拡大の防止や医療体制の充実、市民生活の支援に充

を受け、5月31日に受け付けを終了します。また、児童扶養手当受給者に対する緊急支援給付金事業は、就業環境の影響を受けやすいひとり親世帯への支援の充実を図るため、児童扶養手当を受給している1世帯あたり5万円を上乗せして給付するもので、5月11日に振り込みが行われました。

このほか、新型コロナウイルス感染症対策事業として、帰国者・接触者外来を増設し外来診療体制を充実させることも、新たにPCR検査機器2台を購入することで検査体制の強化を図るほか、PCR検査試薬や配布用マスクの製造購入など、市民の暮らしを全力で支える施策に取り組んでいます。

このほか、新型コロナウイルス感染症対策事業として、帰国者・接触者外来を増設し外来診療体制を充実させることも、新たにPCR検査機器2台を購入することで検査体制の強化を図るほか、PCR検査試薬や配布用マスクの製造購入など、市民の暮らしを全力で支える施策に取り組んでいます。

約60年ぶりに 4月議会を開会 市民の暮らしを全力で支援

4月20日の本会議では、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、市民生活への市独自の緊急支援と感染症対策を盛り込んだ令和2年度一般会計補正予算(第1号)や市の組織体制を強化するため、感染対策局を新設する議案を全会一致で可決しました。

個人商店等緊急支援金事業は、新型コロナウイルス

令和2年第1回定例会 6月議会の予定

※日程は変更する場合があります。

- 8日(月) 10:00 本会議(議案上程・提案説明)
- 15日(月) // 本会議(質疑・一般質問)
- 16日(火) // 本会議(質疑・一般質問)
- 17日(水) // 本会議(質疑・一般質問)
- 18日(木) // 生活文化常任委員会
- 19日(金) // 文教厚生常任委員会
- 22日(月) // 建設企業常任委員会
- 23日(火) // 総務常任委員会
- 24日(水) // 特別委員会
- 30日(火) // 本会議
(委員会審査報告・議案採決)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、風邪症状(熱、咳、くしゃみ、鼻水等)のある方は傍聴をご遠慮ください。

※本会議は明石ケーブルテレビ717chで生中継、また市議会ホームページでは録画放送をご覧ください。



市議会の新体制決まる

5月8日に議長、副議長をはじめ、各常任委員会や特別委員会の構成などが決まり、市議会の新しい体制がスタートしました。

議長
副議長

千住 啓介
佐々木 敏



このたび、私たちは議長ならびに副議長に就任いたしました。その使命と職責の重さに、身の引き締まる思いでございます。

は計り知れないものがあり、市民の皆様のご不安を考えますと、スピード感を持った対応が必要となつてきます。二元代表制の一翼を担う市議会としましては、市民の皆様の声に耳を傾け、今、何が求められているのかをしっかりと判断し、的確な支援が行えるよう市長等の執行機関と真摯な議論を進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症対策にかかる緊急事態宣言が発令され、市民の皆様の暮らしにも大きな影響が出ており、ご不安な思いやご不便をおかけしています。そのような中、外出の自粛や3つの密の回避など、感染防止のためにご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。

新型コロナウイルスによる社会・経済的な影響
今後とも市民の皆様のご信頼と期待に応え、役割と使命を果たすべく、全力で取り組んでまいりますので、変わらぬご支援を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

監査委員

国出 拓志
丸谷 聡子



新しい委員会の構成

◎は委員長
○は副委員長
(R2.5.8選任)

総務常任委員会

市政の総合企画や広報、財政・市税、消防など、総務・財政部門や市民の安全に関わる分野を審査します。



◎尾倉 あき子 (公明党)



○筒泉 寿一 (維新の会)



竹内 きよ子 (明石かがやきネット)



大西 洋紀 (未来明石)



三好 宏 (自民党 真誠会)



辰巳 浩司 (自民党 真誠会)



佐々木 敏 (公明党)

文教厚生常任委員会

教育や福祉、介護保険、子育て支援・子どもの健全育成、保健衛生など、市民の暮らしを支える分野を審査します。



◎寺井 吉広 (自民党 真誠会)



○松井 久美子 (公明党)



家根谷 敦子 (スマイル会)



井藤 圭順 (自民党 真誠会)



北川 貴則 (維新の会)



吉田 秀夫 (フォーラム明石)



林 健太 (自民党 真誠会)



出雲 晶三 (未来明石)

生活文化常任委員会

コミュニティや文化・スポーツ、環境、産業振興など、市民の生活に身近な分野を審査します。



◎榎本 和夫 (自民党 真誠会)



○梅田 宏希 (公明党)



石井 宏法 (自民党 真誠会)



林 丸美 (明石かがやきネット)



森 勝子 (維新の会)



辻本 達也 (日本共産党)



坂口 光男 (自民党 真誠会)

建設企業常任委員会

道路や河川、公園などの整備、住宅や都市計画、上下水道など、市民生活の基盤となる分野を審査します。



◎丸谷 聡子 (未来明石)



○灰野 修平 (自民党 真誠会)



国出 拓志 (公明党)



飯田 伸子 (公明党)



楠本 美紀 (日本共産党)



穂原 成人 (自民党 真誠会)



宮坂 祐太 (フォーラム明石)

◎松井久美子
○辰巳浩司
◎丸谷聡子
○筒泉寿一
◎石井宏法
○家根谷敦子
◎飯田伸子
○丸谷聡子
◎林健太

あかしSDGs 推進計画特別委員会

◎穂原成人
○梅田宏希
◎森勝子
○三好宏
◎出雲晶三

新庁舎整備検討 特別委員会

◎林健太
○国出拓志
◎井藤圭順
○森勝子
◎大西洋紀
○飯田伸子
◎坂口光男

議会運営委員会